

# 愛西市立小中学校適正規模に関する

## アンケート結果の概要について

愛西市立小中学校適正規模等の検討あたって、これまで各種アンケートを実施してきました。各アンケート結果の概要をお知らせします。

### 各アンケート実施日と回収数

種類	対象	実施日(回収日)	配布数	回収数	回収率
A	PTA役員(市内全小中学校)	平成27年5月8日	701	610	87.0%
B	地域懇談会(佐屋)	平成27年10月17日	25	22	88.0%
	地域懇談会(立田)	平成27年10月31日	13	11	84.6%
	地域懇談会(八開)	平成27年11月14日	32	27	84.4%
	地域懇談会(佐織)	平成27年11月28日	21	19	90.5%
C	未就学児歯科検診(佐織)	平成28年5月12日	24	24	100.0%
	未就学児歯科検診(佐屋)	平成28年5月19日	31	28	90.3%
	総代・副総代	平成28年5月24日	239	203	84.9%
	幼稚園・保育園 ※1	平成28年5月24日	270	223	82.6%
	小学校 ※2	平成28年5月24日	317	301	95.0%
	中学校 ※2	平成28年5月24日	192	177	92.2%
	合計		1,865	1,645	88.2%

※1 市内の園から抽出し、市内在住者に各園50名程度で実施

(市江保育園・立南保育園・白百合保育園・佐織保育園・とみよし幼稚園・諏訪幼稚園)

※2 市内全19小中学校から各校1クラス抽出し実施

## A PTA役員 回収数：610枚 平成27年5月実施

### ◎全校の児童生徒の人数について

佐屋地区			立田地区			八開地区			佐織地区		
選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
かなり多い	7	3.1%	かなり多い	0	0.0%	かなり多い	0	0.0%	かなり多い	0	0.0%
やや多い	36	16.1%	やや多い	0	0.0%	やや多い	0	0.0%	やや多い	5	2.3%
<b>ちょうどよい</b>	<b>91</b>	<b>40.8%</b>	ちょうどよい	20	19.0%	ちょうどよい	6	8.7%	<b>ちょうどよい</b>	<b>116</b>	<b>54.5%</b>
やや少ない	73	32.7%	<b>やや少ない</b>	<b>58</b>	<b>55.2%</b>	やや少ない	26	37.7%	やや少ない	81	38.0%
かなり少ない	15	6.7%	かなり少ない	27	25.7%	<b>かなり少ない</b>	<b>37</b>	<b>53.6%</b>	かなり少ない	11	5.2%
無回答ほか	1	0.4%	無回答ほか	0	0.0%	無回答ほか	0	0.0%	無回答ほか	0	0.0%

### ◎1学年あたりのクラス数について

佐屋地区			立田地区			八開地区			佐織地区		
選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
かなり多い	5	2.2%	かなり多い	0	0.0%	かなり多い	0	0.0%	かなり多い	1	0.5%
やや多い	27	12.1%	やや多い	3	2.9%	やや多い	1	1.4%	やや多い	5	2.3%
<b>ちょうどよい</b>	<b>104</b>	<b>46.6%</b>	ちょうどよい	26	24.8%	ちょうどよい	13	18.8%	<b>ちょうどよい</b>	<b>107</b>	<b>50.2%</b>
やや少ない	71	31.8%	<b>やや少ない</b>	<b>42</b>	<b>40.0%</b>	やや少ない	22	31.9%	やや少ない	88	41.3%
かなり少ない	15	6.7%	かなり少ない	29	27.6%	<b>かなり少ない</b>	<b>33</b>	<b>47.8%</b>	かなり少ない	14	6.6%
無回答ほか	1	0.4%	無回答ほか	0	0.0%	無回答ほか	0	0.0%	無回答ほか	1	0.5%

## B 地域懇談会（4地区） 回収数：79枚 平成27年10～11月実施

◎お住まいの学区において学校規模の適正化は必要か

選択肢	回答数	%
必要	43	54.4%
不必要	24	30.4%
無回答ほか	12	15.2%

◎学校規模の適正化の手法として相応しい方策  
(複数回答可)

選択肢	回答数
小中一貫教育	15
学校の統廃合	26
通学区域の再編	22
通学方法の検討	31
現状のままで良い	15
現時点では判断できない	16
その他	3

## C 総代・副総代、小中学生保護者他 回収数：956枚 平成28年5月実施

◎小規模化している学校において小中学校の統廃合は必要か

佐屋地区			立田地区 ※1			八開地区			佐織地区		
選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%	選択肢	回答数	%
必要	159	48.0%	必要	83	44.1%	必要	77	65.3%	必要	155	49.2%
不必要	158	47.7%	不必要	97	51.6%	不必要	39	33.1%	不必要	153	48.6%
無回答ほか	14	4.2%	無回答ほか	8	4.3%	無回答ほか	2	1.7%	無回答ほか	11	3.5%

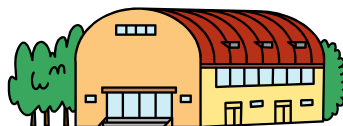
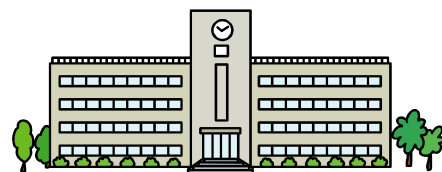
※1 立田地区のアンケートでは通学距離が長いことを問題として不必要と回答した方が多かった。スクールバスの導入等でその問題が解決されれば統廃合が必要とする意見が多くなると推測され、その場合、必要59.0%、不必要36.7%となる。

◎統廃合が「必要」な場合

小中学校の統廃合はどのような形が理想か

(複数回答可)

選択肢	回答数
八輪小学校と開治小学校2小学校の統廃	294
立田北部小学校と立田南部小学校(分校含む)2小学校の統廃	238
西川端小学校と草平小学校2小学校の統廃	152
立田北部小学校と立田南部小学校(分校含む)と八輪小学校と開治小学校の4小学校の統廃	94
八開中学校と立田中学校2中学校の統廃	219
無回答・その他意見	179



◎小中学校の統廃合が「不必要」である理由

(複数回答可)

選択肢	回答数
児童生徒間のコミュニケーションや人間関係が深まる。	210
児童生徒全員の状態が把握しやすい。	284
個性や特性に応じたきめ細やかな指導ができる。	295
クラス数に対して、特別教室・体育館・運動場の割り当てが多くなる。	89
無回答・その他意見	132



## 適正規模に関する意見（アンケート記述内容より抜粋）

※ 各アンケートにて記載のあったものうち、主な意見を集約し記載しています。

### 通学・学区について

- ・ 統合により登下校の時間や距離が増えると新入学生の体力が心配
- ・ 学校を統廃合した場合、通学距離と防犯の面からスクールバスの導入が必要
- ・ 部活後や冬場の暗い中の下校は危険なのでスクールバス導入を希望する
- ・ 統合するなら、通学距離が長くなるので小学校高学年以上は自転車通学を導入してほしい
- ・ 旧町村のコミュニティーを壊す統廃合は避ける
- ・ 旧地域を大切にすることもわかるが、人口差があるので愛西市全体で学区を再編した方が良い

### 人数・規模について

- ・ 少人数だと運動会・発表会の運営が難しく、部活の選択肢も少なくなる
- ・ 少人数は競争心が無くなり人間関係も偏る
- ・ クラス替えができるよう、1学年1学級は統合が必要
- ・ 生徒が少人数だと親の負担も増える（PTA等の役員など）
- ・ 全学年で35人学級を導入してほしい
- ・ 小規模だと専門教員が少なくなるのが問題
- ・ 小中学校を少人数で過ごすとは高校になってコミュニケーションの問題が出る
- ・ 人数が多い方が勉学・スポーツともに切磋琢磨できる
- ・ 人数が多くなると問題も多くなる（人間関係・担任の負担増）
- ・ 小規模校の方がきめ細やかな指導ができるメリットがある
- ・ 子どもは少人数の方が意見が言いやすい

### その他

- ・ 小中一貫教育を導入して欲しい
- ・ 人口推移をみると統合はやむを得ない
- ・ 統廃合よりも少子化対策で子どもを増やすことが優先
- ・ 農村と市街地での人口（子ども）の数に差があるため、地区ごとの統合では解決しない
- ・ 小学校は災害時に地域の避難所で必要だから小学校の統合は難しい
- ・ 小規模校同士を統合しても将来また小規模になる
- ・ 統合に対して期待より不安の方が大きいと子どもは感じている様子
- ・ 建設場所の確保に不安がある